

令和5年2月定例教育委員会議事録

開 閉 日 時	令和5年2月20日 午後1時30分開会 午後2時55分開会	
開 催 場 所	志木市役所 教育委員会議室	
委員の出席状況	出 席	柚木博教育長、八代豊教育長職務代理者、 岩澤千恵子委員、上野幸子委員、飯田昌利委員
	欠 席	なし
説明のため出席した者の氏名・職名	今野教育政策部長、成田教育総務課長、島村教育政策部次長兼学校教育課長、土崎生涯学習課長、浅見生涯学習課主幹	
会 議 書 記	浦野教育総務課主任	
傍 聴 人	0人	
会 議 内 容	<p>議 題 第4号議案 県費負担教職員人事の内申について</p> <p>協議事項 令和5年度志木市教育行政重点施策（案）について</p> <p>報告事項 （1）子ども大学しきの実施報告について （2）青少年非行・薬物乱用防止講演会の実施報告について （3）第29回志木市芸能祭の実施報告について</p> <p>その他</p>	

審議内容（発言者、発言の要旨）

○柚木教育長

令和5年2月定例教育委員会会議の開会を宣す。

議事録署名委員に上野委員を指名した。

会議書記に浦野主任を指名した。

2月定例教育委員会議事録を各委員に諮り、一部修正のうえ承認された。

◎教育委員会報告

○今野教育政策部長

令和5年1月定例教育委員会以降の教育委員会の主な動きを報告する。

- ・ 1月27日 埼玉県都市教育長協議会第4回定例会
第48回太陽展（28日まで）
- ・ 1月28日 小中一貫教育基本方針地域説明会（宗岡第二中学校区）
志木市体育協会新年賀詞交歓会
- ・ 1月31日 定例庁議
宗岡中学校2年生宿泊学習（2月2日まで）
宗岡第二中学校1・2年生宿泊学習（2月2日まで）
- ・ 2月 1日 南部教育事務所教育支援担当学校訪問（宗岡第二小学校）
- ・ 2月 2日 定例校長会
- ・ 2月 3日 南部教育事務所教育支援担当学校訪問（宗岡第四小学校）
- ・ 2月 4日 子ども大学しき
志木中学校2年生宿泊学習（2月6日まで）
- ・ 2月 8日 定例庁議
- ・ 2月 8日 志木第二中学校2年生宿泊学習（2月10日まで）
- ・ 2月 9日 臨時市町村教育委員会教育長会議
いじめ防止対策委員会
- ・ 2月10日 令和4年度市町村教育委員会教育長・教育委員研究協議会
- ・ 2月13日 南部教育事務所教育支援担当学校訪問（宗岡小学校）
- ・ 2月14日 第3回志木市複数・少人数指導体制推進事業検証委員会
- ・ 2月15日 志木市学校運営協議会委員研修会
- ・ 2月16日 志木市防災会議
- ・ 2月17日 南部教育長会議及び南部教育長協議会
- ・ 2月19日 第29回志木市芸能祭

令和5年志木市議会3月定例会について

教育委員会への一般質問通告内容について説明

○飯田委員

宗岡第二中学校で、1年生と2年生が同時に宿泊学習に行っている理由は何か。

○柚木教育長

これまで2年生で宿泊学習を実施してきたが、来年度からは1年生で実施予定のため、今年に移行期間として2学年同時の実施になっている。来年度は1年生のみで実施する。

教育長発議

○柚木教育長

第4号議案 県費負担教職員人事の内申については、人事案件であるため、志木市教育委員会会議規則第5条第1項第1号の規定により会議を公開しないことを発議する。

教育長の発議を受けて、採決した結果、第4号議案については、志木市教育委員会会議規則第5条第1項第1号の規定により、会議を公開しないことを議決した。

○柚木教育長

第4号議案については、非公開案件であるため会議の最後に審議することとしてよいか。

○全委員

了承する。

○柚木教育長

本日は非公開案件があることから、次第6協議事項より説明を求める。

◎協議事項 令和5年度志木市教育行政重点施策（案）について

○柚木教育長

令和5年度志木市教育行政重点施策（案）について、説明を求める。

○成田教育総務課長

令和5年度に取り組む、志木市教育行政重点施策について説明する。本市においては、小中一貫教育を充実させ義務教育学校を導入する取り組みや、市立図書館と学校図書館との連携を深める取り組み、市民会館・市民体育館の複合施設化など志木市にくらすひとびとが新たに動き出す施策を進めていく。具体的には、小中一貫教育の導入に向け、義務教育9年間をとおした中学校区ごとの教育目標や目指す児童生徒像をはじめ、具体的な取り組みを盛り込んだ推進計画を策定していく。中学校においては、支援員として近隣の学校の高校生や大学生を迎えた「ベーシックサポート事業」を継続し、小学校においては、「スタディサポート事業」を充実させる。「元気に育つ志木っ子条例」については、令和4年度に実施した効果測定の結果を踏まえながら、市内全小中学校の児童・生徒とその保護者に情報モラル教育、相談会等の事業を実施する。また、「放課後志木っ子タイム」については、地域ならではの創

意や工夫を凝らした多様な体験・活動を行っていく。さらに、事業プログラムである「放課後学習教室」については、タブレット端末の効果的な活用を市内全小学校で実施する。生涯学習においては、いろは遊学館・公民館のスマートフォン等講座の充実、図書館予約資料受取窓口を拡充、スポーツ振興においては、市民の生きがいつくり、体力向上、健康増進等を促進するとともに、施設の利用環境の向上を図っていく。重点施策の具体的な取り組みや体系については、資料のとおりである。

○飯田委員

本文中の「不登校対策の更なる充実を図る」について、昨年度はなかったと思うが、入れた背景について教えてほしい。

○島村教育政策部次長兼学校教育課長

サポートセンターが中心となって取り組んでいる内容になるが、タブレット端末が導入された関係で、それを使った新たな取り組みが拡充される。今は相談するのに電話やセンターに足を運ばなければならないが、タブレットを使って相談ができるよう進めているところである。

○飯田委員

体系の方には言葉として出てきているが、小中一貫教育の導入の中で、教職員の働き方改革について、重点施策の本文の中に盛り込んでみてはいかがか。それによって、学校側の体制も変わってくるのではないかと考える。

○島村教育政策部次長兼学校教育課長

小中一貫教育が軌道に乗るまでは負担が増えると思うので、軌道に乗ったら減らしていけるように入れていきたい。

○柚木教育長

先日終了した各中学校区における説明会においても、教職員の働き方について質問が出たところである。小中一貫教育に取り組む中で、働き方改革を踏まえるのは大切なことだが、本来、全体を通してその視点を持たなくてはいけないと思うので、少し検討させていただく。

○八代教育長職務代理者

表記について検討していただきたい点がある。まず2行目の「おります」を「います」へ、5行目の「取り組み」は名詞なので「取組」へ、8行目の「義務教育9年間をとおした」を「通した」と漢字に変更し、15行目の「中学校において」は、次の「小学校においては」と対応させるため、「おいては」と変更した方が良いのではないか。また、6行目の「志木市にくらすひとびと」の表記は、もう少しわかりやすい表現に変えても良いと思う。つづいて、「児童生徒の交流」については、児童と生徒の交流なので、「・」を入れると小学校と中学校の交流という意味を持てると感じた。「元気に育つ志木っ子条例」については、学校教育と生涯学習の中間の内容なので、その間に文章を入れているのか。生涯学習についての内容で

あれば、次の段落の生涯学習の内容に入れても良いと思うので、場所の検討をしてほしい。最後に、「放課後志木っ子タイム」の部分で、「居場所づくりを行い」に少し違和感があるので、表現の検討をお願いしたい。

○**柚木教育長**

ご指摘いただいた内容について、検討を行う。

○**飯田委員**

重点施策1の具体的な取り組みにおいて、「民間事業者との連携による水泳指導の全小学校での実施と基礎体力作りの推進」とあるが、すでに実施しているので、「強化」などの表現でもいいのではないか。

○**島村教育政策部次長兼学校教育課長**

水泳事業は既に全校で実施しており、低学年の基礎体力づくりは足育とコラボしたりしていろいろ進めており、中学年の器械運動については毎年事業者や学校を変えて行っている。

○**柚木教育長**

初めて取り組むイメージがあるが、ここでは継続のニュアンスを入れたほうが良いと思われるので、検討する。

○**上野委員**

「図書館予約資料受け取り窓口の拡充」について、具体的に何を行うのか。

○**今野教育政策部長**

マルイの8階に市民サービスステーションが5月1日にオープンするが、そこで、市内の図書館等で予約した資料を受け取れるサービスを開始する。朝9時から夜10時まで受け取れるという内容で、駅をご利用になる方も使いやすくなるというサービスとなる。

○**柚木教育長**

ご指摘いただいた内容を踏まえ、次回定例教育委員会で議案として提出させていただく。

◎**報告事項(1) 子ども大学しきの実施報告について**

○**土崎生涯学習課長**

2月4日に令和4年度の子ども大学しきを実施したので、担当より報告する。

○**浅見生涯学習課主幹**

子ども大学は県の推進事業であり、地域の大学や市町村、企業と連携して、原則小学校4年生から6年生を対象に学びの機会を提供する事業である。志木市では平成26年度から十文字学園女子大学と青年会議所、現在はNPO法人アンサーズネットと連携し、実行委員会を開いて実施している。今年度は2月4日に実施した。当初は年3回やっていたが、コロナ

の影響で1日だけの実施となっている。今年度のテーマは「プログラミング初心者大集合！はじめてのプログラミング教室」で、十文字学園女子大学の先生に講義をいただいて、実際にプログラミングに挑戦した。当日は30名が参加し、アンケートを取ったところ、「とても満足」が90%で、子どもたちには大変好評であった。

○八代教育長職務代理者

テーマがとてもよいと感じたが、どのように決めているのか。教育委員会で決めているのか。

○浅見生涯学習課主幹

テーマは実行委員会で決めている。今年度は、十文字学園女子大学の方からご提案をいただき、実行委員会で決定した。

◎報告事項（2） 青少年非行・薬物乱用防止講演会の実施報告について

○土崎生涯学習課長

2月9日に志木市青少年育成市民会議の講演会を開催し、市民会議の会員とPTAの方、計39名に参加いただいた。内容としては、最近の非行少年の特徴と対応について学び、非行防止について考えるということで、さいたま少年鑑別所の首席専門官の方に講演をいただいた。講師の方からは、受講者の方々が関心を持って真剣に聞いていただいたとお言葉もいただき、充実した講演会になったと考えている。

◎報告事項（3） 第29回志木市芸能祭の実施報告について

○土崎生涯学習課長

昨日、第29回志木市芸能祭を実施したので、担当から報告する。

○浅見生涯学習課主幹

芸能祭については、3年ぶりに実施した。昨年度は実施する予定でポスター作成までしていたが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。前回開催した令和元年度と比べて出演団体数は同じだが、参加者が若干少なくなっている。理由としては、詩吟・洋舞踊が1団体も出ていないということが挙げられる。しかしながら、今回は吹奏楽などの初参加の団体が参加している。また、初めての試みとして、文化体験道場を受講した子どもたちの参加があり、邦舞踊が5名、邦楽が6名、民謡が2名の計13名が参加した。ホール入場者数については計543名であったが、新型コロナウイルス感染症対策で座席を1席空けにし、約380席で満席という中、入れ替わりながらもほぼ満席に近い状態となっていた。参加者も見に来た方も一体化されたいい祭典になったと思う。

◎その他

とくになし

事務局より、次回定例教育委員会の日程を確認する。

○**柚木教育長**

公開による議事は終了とし、これより非公開とする。

◎**第4号議案 県費負担教職員人事の内申について**

※第4号議案については、志木市教育委員会会議規則第19条第3項に基づき、審議結果を除き、公表しない。

第4号議案 県費負担教職員人事の内申については、原案のとおり可決された。

○**柚木教育長**

ほかになければ、これをもって令和5年2月定例教育委員会を閉会する。

教育長

会議録署名委員

(※署名は元本)